

2009年4月1日
北海道国際航空株式会社

2009年度入社式 社長式辞

～次の10年、20年に向けた新たなスタート～

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

社員並びに役員一同を代表して、皆さんを心より歓迎いたします。

また、本日、4月1日は、当社第6番目の路線である新千歳-新潟線の就航もスタートし、新しい皆さんの入社とともに二重の喜びを感じています。

さて、当社は、昨年12月に就航10周年、そして、それに先だつ11月には就航以来の搭乗者数1,000万人を達成する節目を迎えました。ここに至るまでの過程は決して順調なことばかりではありませんでしたが、北海道民をはじめ多くの方々のご理解とご支援に支えられ、一步一步、歩んできました。そして、今年度は、次の10年、20年に向け新たにスタートを切る年度であり、加えて、2010年度の羽田空港の再拡張も目前に控え、非常に重要な1年であります。皆さんは、その新たな、かつ大事な節目に入社したことになります。

当社の使命は、安全を第一に、低廉な運賃による良質なサービスの提供により「北海道の翼」として、利用者の方々に喜んでいただくこと、そして、地域経済の発展に貢献することです。この使命を達成するため全社一丸となって取り組んでいます。

一方、現下の経営環境をみますと、昨年後半からの米国サブプライムローンに端を発する急激な景気後退に伴う旅客需要の減退など非常に厳しいものとなっています。このような経済情勢が不透明な中、当社における最重要課題は、安全を大前提として、どんな経営環境においても確実に利益を上げられる企業体質の構築と揺るぎない強固な経営基盤の確立を目指すことです。

この実現に向け、5つの方針を持っています。

1つめは、安全を最優先とする企業文化の更なる醸成を目指すことです。安全は経営の根幹であり、いかなる状況下においても、安全に対する投資は惜しむことはありません。

2つめは、お客様の視点に立った個性溢れるサービスを更に強化し、他社との差別化を図ることで。当社は、“北海道”という国内はもとより世界にも誇れるブランド価値を有する地域をホームタウンとする会社です。そのリソースを最大限に活用した当社ならではの良質なサービスを目指していきます。

3つめは、低コスト化に向けた取り組みを推進していくことです。この一環として、現在、当社においては、出来る限り、自社業務範囲の拡大を目指して、その実現に取り組んでいるところです。

【広報資料】

4 つめは、社員教育と研修に力を入れるなど、現場力の強化と、より働きがいのある職場環境を構築することです。現在、「一人二役」というフレーズを社内合言葉にしています。これは、少ない人数でより業務効率を上げていくという意味のほか、より広汎な業務を担当することで、社員個々の能力や視野をより広げ高めていくという意味があります。また、様々な研修や教育等の機会を通じて縦のつながりや横のつながりも大切にしています。

そして最後は、地元北海道に密着した社会貢献活動を積極的に展開することです。昨年、就航 10 周年行事の一環として道内 4 就航地区での植樹活動を実施しました。地元の皆さんや森林組合、行政機関の皆さんとの触れ合いを通じ、当社に対する熱い期待や想いを改めて実感することができました。

以上申し上げた通り、今後取り組むべきテーマ、課題は決して少ないものではありません。しかし、当社は、若さに溢れた活力のある会社です。無限の可能性が秘められています。全社員が心一つにして安全を常に意識しながら、当社の企業価値を高めるため、最善の努力をし、皆さんと一緒にエア・ドゥの明るい未来を築きたいと思えます。

そのためには、まずは皆さん夫々が、心身ともに健康に充分留意されることを切に願います。そして、持ち前のチャレンジ精神とやりぬく気持ちを持って共にがんばっていきましょう。

皆さんのこれからの活躍を大いに期待しています。

北海道国際航空株式会社
代表取締役社長
淡路 均

【参考】北海道国際航空 2009 年度入社式について

- ・日 時 : 2009 年 4 月 1 日 (水) 15 : 00～
- ・場 所 : 当社本社会議室
- ・対象社員数 : 22 名 (新卒採用者、中途採用者含む)

<本件に関する問い合わせ先>

総務部広報担当 TEL : 011-252-5533